

体育館避難所設営はP35~38を読んで作業する。

3-3. 避難所設営業務 本業務は庶務班の担当。

3-3-1 基本事項

防災拠点立上参集者は総力を挙げてリーダーの指示に基づき被災者を早急に収容する為 体育館の割振図に従って避難場所を設営する。
 舞台に向かって中央に2m幅の通路を設定 車椅子対応可能とした。
 教室の区割りは体育館収容人員を超過する場合本部運営会議に従って協議対応する。
 避難所の縮小する場合は教室から順次体育館に移動をお願いします。

3-3-2 設営の考え方

避難者一人のスペースは1.6㎡(1.8×0.9m)。詳細は「3-3-3(3)体育館配置図」を参照願います。

- ・体育館の以下の区画は、多目的トイレ、授乳スペース、更衣スペースの近くに設定する。
 A1~D4(16区画):車椅子、傷病者のスペースとする。必要により11, 12と拡張する。
- ・傷病者等の健康状況をみて保健室へ誘導する。
- ・避難者のブロック誘導は①②③~⑧⑨に順次割り当てとし空白は設けない。
 但し家族単位で別ブロックになる場合は次のブロックに繰り上げる。
- ・舞台上には授乳スペース他プライベート使用として 学校からパーテーション等を借り受け対応する。
- ・プラダン設営後は案内表示(パウチ)を対応する場所に貼る。(トイレ表示など6種ある)

注意事項(現状は区割り用のプラダンが断熱材です)

当防災拠点にはウレタンマット、段ボールベツ等の備蓄はしていない。毛布備蓄も少量。
 早急に段階的(予算の関係上)な充実が急務。市の対応力事前調査を要する。

(1)小田小学 校舎内(教室等)配置図 横浜市立小田小学校 平面図



参考：避難を要する人数予測

自治会・町内会名	世帯数	推定人口	1%	2%	3%	4%	5%	6%	7%
齊砥	780	1,857	19	37	56	74	93	111	130
椿ヶ丘 注1	722	1,719	17	34	52	69	86	103	120
鳥海ヶ丘	435	1,036	10	21	31	41	52	62	73
日生鳥海ヶ丘	253	603	6	12	18	24	30	36	42
東芝杉田コーポ	172	410	4	8	12	16	21	25	29
富岡梅林	135	322	3	6	10	13	16	19	23
みづきヶ丘	338	805	8	16	24	32	40	48	56
富岡北部	680	1,619	16	32	49	65	81	97	113
杉田梅林 注2	470	954	10	19	29	38	48	57	67
杉田台	820	1,862	19	37	56	74	93	112	130
京急杉田	300	681	7	14	20	27	34	41	48
杉田大谷団地	430	977	10	20	29	39	49	59	68
マール磯子	290	659	7	13	20	26	33	40	46
グリーンヒル杉田	32	73	1	1	2	3	4	4	5
パームヒルス	159	361	4	7	11	14	18	22	25
合計	6,016	13,938	139	279	418	558	697	836	976

注1：椿ヶ丘の一部世帯(205)は富小地域防災拠点に属する

注2：杉田梅林の約半分の世帯(約240)は梅林小地域防災拠点に属するが、小田小避難を推奨している。

⑤庶務班立上BOX⇒庶務班リーダーが受け取る

No	品名	数量	No	品名	数量
1	防災拠点運用手順書	5部	11	カラーマジックペン(黒・赤)予備	一式
2	ハサミ	3個	12	ビニルテープ	3個
3	カッター	7個	13		
4		各5本	14		
5	カラーマジックペン(多色)	5セット	15	拡声器 上の段左側にある。	2器
6	ガムテープ	5個	16	コードリール(長) 棚の右にある	6巻
7	布テープ(各色)	3巻	17		
8			18	延長電源コード(5個口)	現状不要
9	ノート(通常時の受付・入退出用等)	10冊	19	乾電池⇒不要 注1	
10	軍手	20双	20		

注1：手廻ラジオ、充電式LEDあり。必要なら太陽光充電器＋エネルギーブを用意。

⑥避難所設営BOX⇒庶務班リーダーが受け取る

No	品名	数量	No	品名	数量
1	小冊子-1	6部	5	ビニール袋(靴入れ)	約500
2	避難所設営ロープ(基準1、線用2)	一式	6	白紙(A3)	約50枚
3	養生テープ	10巻	7	マジック(黒、赤、青)	3セット
4			8	ガムテープ(赤、黄)区割No記入用	各1巻

段ボール1箱(避難所設営BOXと一箱に保存)

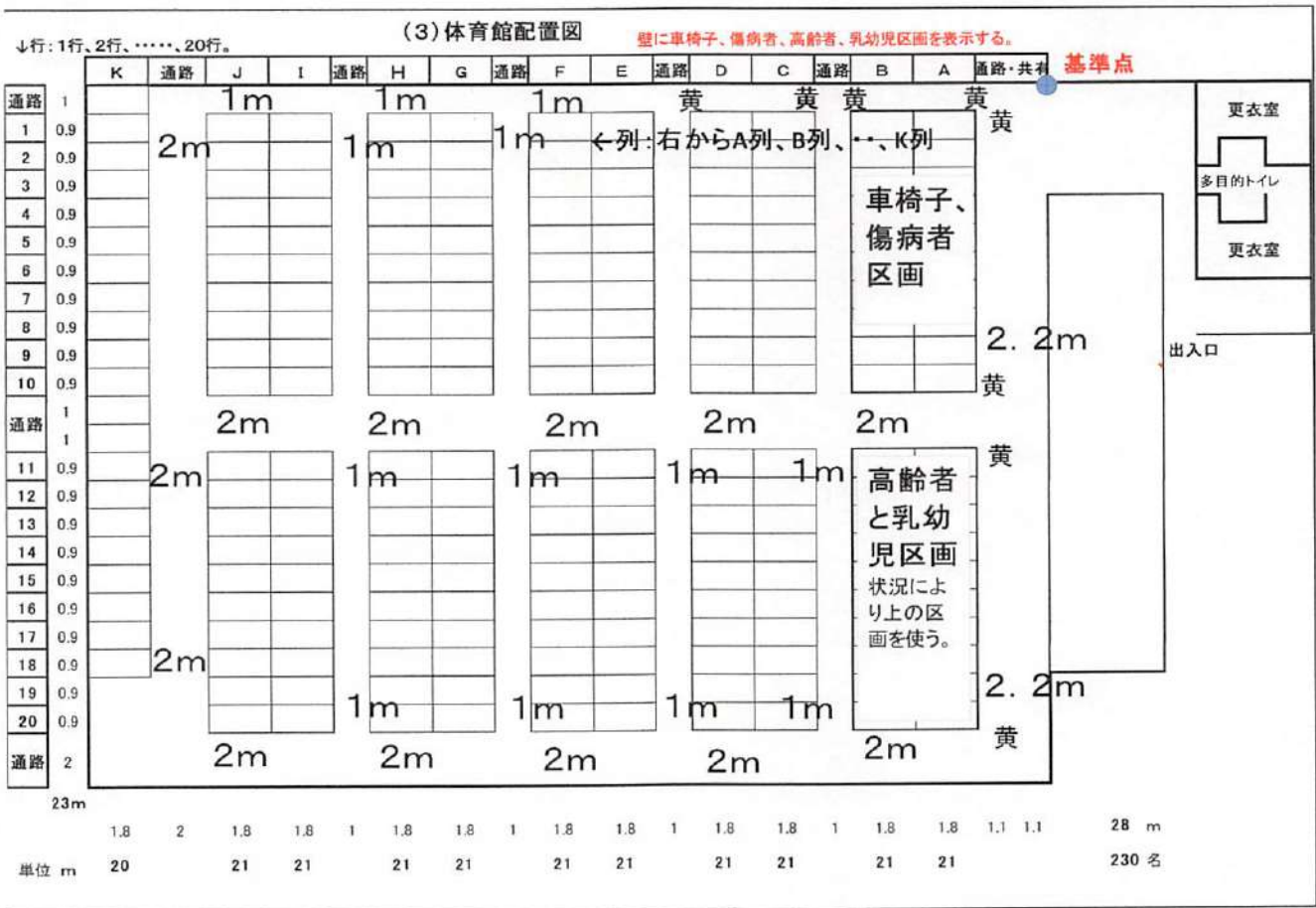
一 養生テープ(避難所設営用) 30巻 ⇒避難訓練後必ず補充すること。

参考。プラダン保管場所と配置図(補足資料)

(1) プラダン保管場所(ポンプ室左)



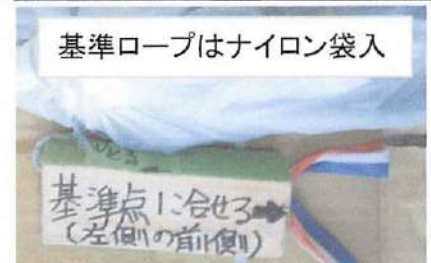
(2) プラダン(写真は制作時。正しくは下図のように敷く)



3-3-3 体育館避難所設営手順

(1) 作業内容

- 1) 避難所設営BOXに有る「避難所設営ロープ3本」と「養生テープ」で、避難所の区画に10枚単位のプラダンを並べていく。下図参照
- 2) 並べて固定し終わったら、図面番号を記載する。
方法: プラダンの外側にガムテープを5cmくらい貼り、マジックでA1, A2, ...K21と書く。
- 3) 舞台の上の授乳スペース、更衣スペースをパーティション(学校から借りる)で設営。
多目的トイレ、更衣スペース等への案内看板(またはポスター)を設置する。落ち着いたら、注意事項等も掲示する。
注: 舞台のレイアウト、案内看板等は別途作成予定
なければコピー用紙を使い、現場で手作りする。



庶務班の担当は、①受付への誘導、②避難所への誘導もあるので、受付と連携して対応願います。

上の木札を基準点に合わせて、小さい木札を持ってロープを伸ばす

言葉の定義(この言葉で会話してください)

以下に、避難所設営のための用語を定義します。
・体育館の4面の定義、区画の定義は下記参照



基準点は左側の前側

避難所設営ロープ(3本)の目印について。

注: プラダンを導入したため青いリボンは無視する

基準ロープは前側から(赤青白の3色リボン)+(黄+黄+ラベル+青+ラベル+黄色)*5+黄+ラベル+黄で目印してある。

ラベルは A~Kが振っており、両端に木札がある。

線ロープ2本(1本予備)は(赤青白の3色リボン)+黄+青*9+黄、黄+青*9+黄で目印してあり、両端に木札がある。

- ★ロープをかたずける時は、大きい木片を持ち、そこから8の字巻にする。巻終わったら、残ったロープを2~3回巻いて端をU字にして押し込む。ロープが解けない様に押し込んだU字のロープを大きい木片にガムテープで止める。



(2) 避難所区画設営手順

避難所の区画を素早く設営するために、避難者(子ども含む)を沢山動員して作業する。

リーダー:1名小冊子を理解し、的確な指示が出来る方(訓練経験者を選択)。

<<設営手順>>以下の図面、写真は右側が体育館の前(ステージ側です)。

①基準ロープを体育館の左側の前側(基準点)からセットする。

- ・3色リボンを基準点(体育館のステージに向かって左角)に当ててテープで止める。
- ・ロープの中ほど(1~3か所)と終端を養生テープで固定し、設営完了までそのままにする。

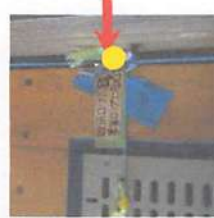
①基準ロープ

基準点

②線ロープ1本をセット

基準ロープの目印(最初の黄色いリボン)に合わせて線ロープをテープで止める。終端をもっている人は、体育館の床板の丸い臍(以下ホゾと呼ぶ)の位置を参考にして基準ロープに直角になるよう調整して、両端を養生テープで止める。

注意事項:ロープは伸びるが、最初のプラダンを敷いたら線ロープは使わないので気にしないで良い



②線ロープ

③プラダンを搬出し体育館に持ってくる。(1セット=10枚を繋いで折畳みである)

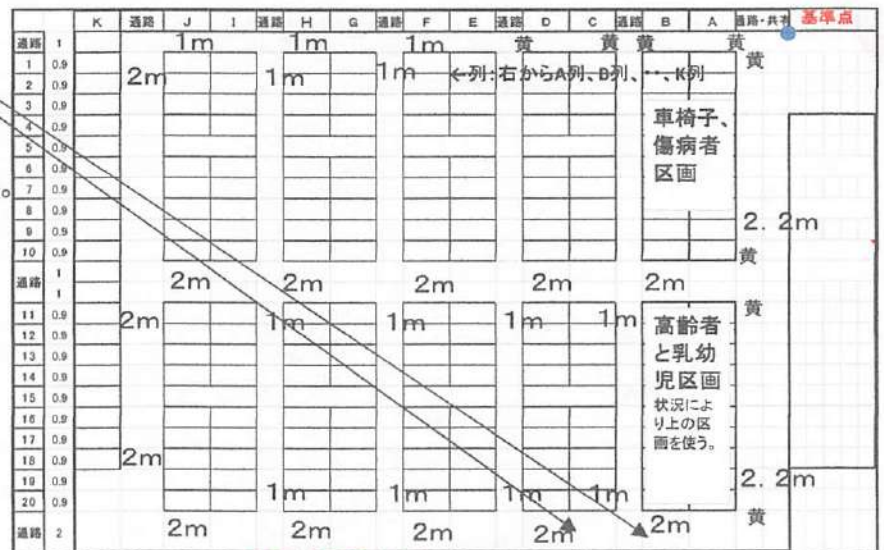
ポンプ室の鍵を開けて(空いていないなら仮本部に依頼)積んであるプラダンを運ぶ。一人20枚程度(2セット)が適量。22セットなので11名行けばいい、6名なら2往復。運んで来たら4セットずつグラウンド側の床に置く。図面を見て適当でよい。

④プラダンを敷いて固定する

線ロープの黄色いリボンに合わせてA, B列の左区画、右区画に敷く。プラダンの端を養生テープで床固定。A, Bの境界も養生テープで止める。

⑤残りを並行して作業する。

A, Bの配置が決まったら人数のいる限り並行してC, D, E, F, ...と敷く
目安は基準線の黄色いリボンとA, B列のプラダンの端だが、1m, 2mを目安とすればいい。



グラウンド側(右)

⑥K列は10枚1セットを縦に2セット敷く

注意事項1: A, B列が敷けた時点で適時判断して、車椅子、傷病者、高齢者と乳幼児を受け入れる。

注意事項2: 設営完了を本部と受付に報告し、用具を立上BOXに収めて終了する。

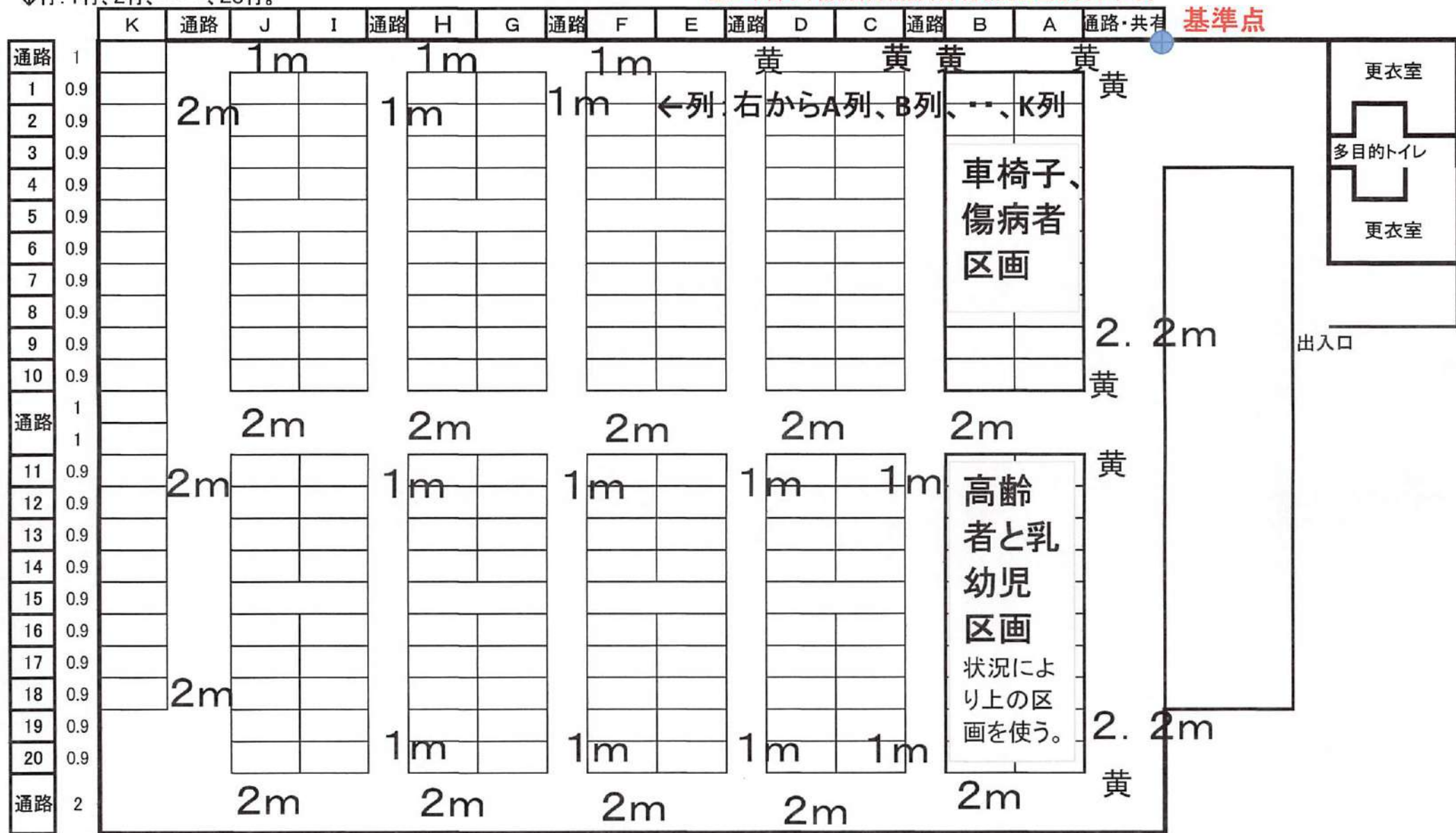
並行して前頁の2)、3)の番号付けや案内表示を掲示する。

(3) 体育館配置図

↓行: 1行、2行、……、20行。

壁に車椅子、傷病者、高齢者、乳幼児区画を表示する。

基準点



23m

1.8 2 1.8 1.8 1 1.8 1.8 1 1.8 1.8 1 1.8 1.8 1 1.8 1.8 1.1 1.1 28 m

単位 m 20 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 230 名

3-3-4 避難場所設営順序と収容人数

学校本体機能を阻害せず 拠点運営を総合的に考慮して避難者収容は下記順序による

注意事項:健康な人は、体育館が設営できるまでは校庭で待ってもらう。
傷病人は緊急な場合、保健室で対応する。

一時収容機能 保健室

避難所開設順序 ①体育館 ②図工室 ③家庭室 ④音楽室1 ⑤音楽室2
⑥視聴覚室 ⑦多目的室1

多目的室2～6室は 受入避難状況を見て学校運営に支障のない範囲で協議する

(1)小田小学校防災拠点収容人員

優先順位	教室名	最大収容人員	同左累計	現在収容人員	備考
1	体育館	230	230		
—	図工室	0	0		本部として使用
2	図書室	42	42		救援物資置き場
3	音楽室1	28	70		乳幼児(授乳、避難用)
4	音楽室2	28	98		重体、傷病者対応
5	視聴覚室	28	126		
	小	計	356		
6	多目的ホール1	28	28		
7	多目的ホール2	28	56		
8	多目的ホール3	28	84		
9	多目的ホール4	28	112		
10	多目的ホール5	28	140		
11	多目的ホール6	28	168		
	総合計		524		

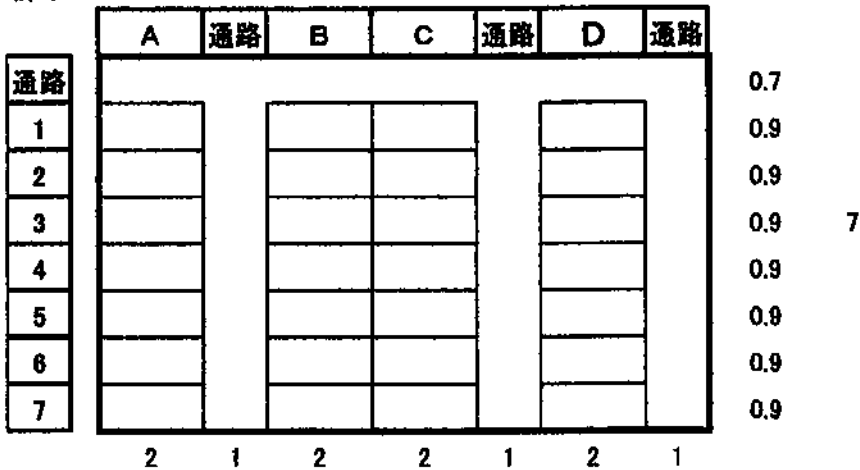
以下参考

1	一般教室(1F)	24	24		
2~3	一般教室(1F)	48	72		
4~7	一般教室(2F)	96	168		
8~10	一般教室(2F)	72	240		
11~14	一般教室(3F)	96	336		
15~18	一般教室(3F)	96	432		
19~22	一般教室(4F)	96	528		

(2)教室の区割り図 注:番号は使用順序。なお1番は体育館。

2番:図工室。 4, 5番:音楽1, 2配置図

廊下



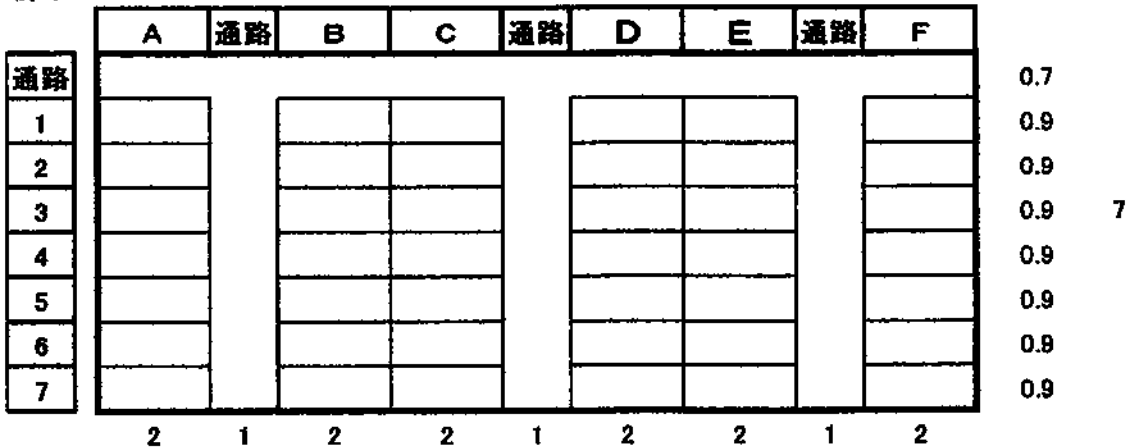
窓側

11

$7 \times 4 = 28(+4)$ $28 \times 3 = 84$ 人

3番:家庭科室

廊下



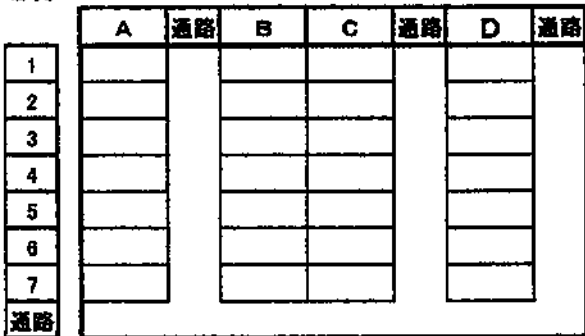
窓側

15

$7 \times 6 = 42(+12)$ 42人

6番:聴視覚室

窓側



廊下

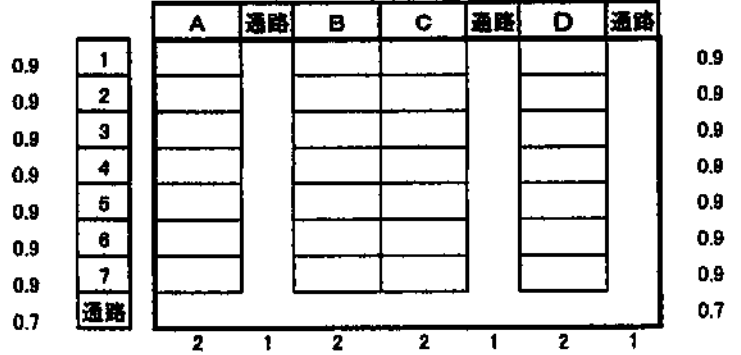
11

$7 \times 4 = 28(+4)$ 28人

単位 m 7~12番:多目的ホール

単位 m

使用順序:1階 NO1. 2階 NO2. 3. 3階NO4. 5 4階NO6



$7 \times 4 = 28$ 人/部屋 28×6 部屋 = 168人

3-4. 飲料水の確保

発災時、水道が使用できない場合、下に記載している水を使用します。
また、水道からの取水量が間に合わない場合は水の缶詰を活用します。
なお、水の使用計画については、本部運営会議にて検討し決定します。
特に発災から3日間は3-4-1, 3-4-2の範囲で拠点を運営いただく必要があります。

3-4-1 水の缶詰(防災倉庫右奥にある)

発災時避難者の飲料用に使用します。また傷の手当等にも活用します。
なお炊出し用は下記受水槽等を使用します。

3-4-2 受水槽(小田小設置済。右写真参照)

受水槽はポンプ室の後側、給水栓はポンプ室にあります。
発災時は駆けつけ隊のメンバーが給水栓を設置し使用できるようにします。
指示があれば駆けつけ隊を支援してください。

3-4-3. 給水車 東側の校門前で受け入れる。

行政より給水車が来るのは3日目位後が目処です。
それまでは防災倉庫の水・受水槽の水・近隣から
確保する水(プール、井戸水等)を計画的に使い対応する。

3-4-4. 緊急給水栓

4日目以降水道局が設置する。場所は東側の校門前(写真参照)



地域防災拠点 開設・運営マニュアル(資料編)

Q-9飲料水の確保の仕方について教えてください(10~12ページ)より抜粋

受水槽を活用した飲料水の確保

新たな飲料水確保策の一つとして、地域防災拠点に設置されている受水槽の排水管に、簡易な給水栓を取り付け活用し、飲料水を確保します。

- (1) 蛇口スタンドの組立て、ホースを蛇口スタンド側と受水槽の排水口側にそれぞれ差し込みます。
- (2) バルブを開放後、蛇口を全開にして水を出します。
※ 蛇口をひねってすぐはゴミや、汚れた水が出ることもあります。
- (3) スポイト状の残留塩素測定試薬により確認し、飲み水として使用可能と確認できた後、活用します。

※ 詳細な操作方法については、している受水槽用蛇口式に添付されているマニュアルを御確認ください。

一番上の写真の受水槽と設置状態です。



受水槽用蛇口式はポンプ室。

グラウンド側

写真奥はポンプ室

体育館

22.95立方メートル
約2万3千3リットル

受水槽

バルブの位置

蛇口にホースの小さい口元を差し込みバルブを開けると水が出ます

バルブにホースの大きい口を差し込み

受水槽への蛇口取付方法

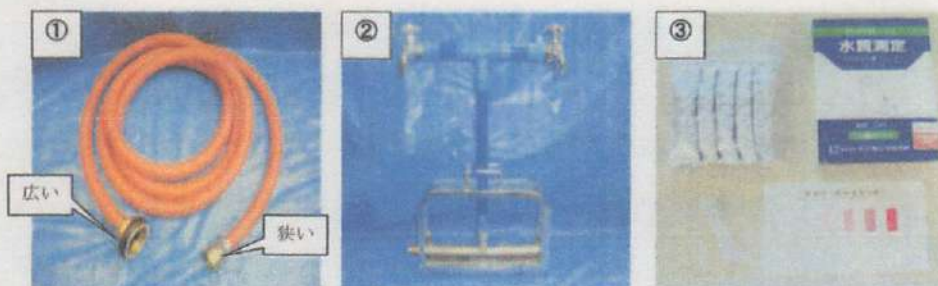
1 受水槽用蛇口一式

防災備蓄庫の中の「受水槽用蛇口一式」と記載された袋を使用する。



2 袋に入っている資機材

- ① ホース
- ② 蛇口スタンド
- ③ 残留塩素測定試薬



3 蛇口スタンドの組立て

- ① 蝶ネジ2つと留め金をはずす。
- ② 足になる部分を地面と平行になるように開き、留め金と一緒に再び蝶ねじを締める。



4 ホースの取り付け

- ① ホースの口が狭くなっている側を、蛇口スタンド下部の口に差し込む。
- ② ホースの反対側（広がっている側）を、受水槽のテスト弁に差し込む。



※ホースは正しく接続できると「カチッ」と音が出る。反対では取付不可。

5 水を出す

- ① バルブを開く。
- ② 蛇口を全開にして水を出す。

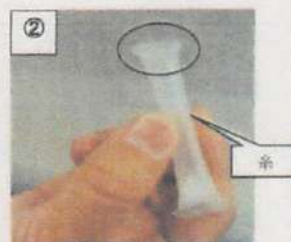
※蛇口をひねってすぐはゴミや、汚れた水が出ることもある。



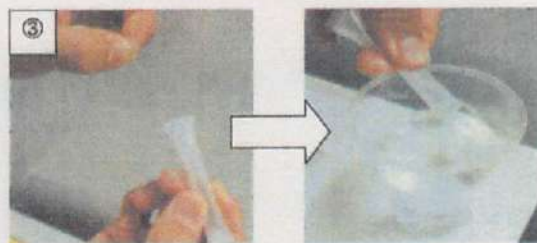
6 【重要】残留塩素の確認

① 見目でキレイな水が出るようになってから1分以上、
水を出す。

② スポイト状の残留塩素測定試薬（以下、試薬という）を
箱から1つ取り出す。



③ 試薬の先端の糸を引き抜いて、軽くつまんで
中の空気を追い出し、試薬の中に水を入れる。



④ 試薬に水を入れたら軽く振りまぜ、
試薬の中の水の色の変化を確認する。



⑤ 試薬に水を入れ軽く振り混ぜて10秒後、
色が薄くてもピンク色に反応すれば、
飲み水として使用可能。

※1 **【最重要】試薬の中に水を入れても反応がない（透明なまま）場合は、絶対に飲み水として使
用しないこと。**（飲み水以外の雑用水として使用することは可能。）

※2 手などが触れてしまった水を試薬の中に注入すると、汚れに反応して正しい反応が出なくなる
ため、**必ず水に手などを触れないように注入すること。**

※3 時間が経つと徐々に色が濃くなってしまい、正しい結果が得られなくなるため、試薬に水を入
れてから**必ず1分以内の反応を見ること。**

7 その他、注意事項など

① 蛇口から水の出方が悪くなってきたときは、取り付けたものをすべて取り外し、排水口から直接
水を出す。

（それでも水が出ない場合、受水槽の中の水がなくなった可能性が高いので、使用をやめる。）

② **使用後はバルブを必ず閉めること。**また、可能な限り、蛇口スタンドとホースを干して乾燥さ
せてから備蓄庫に保管する。（水分が残っていると、カビやサビの原因になるので要注意。）

③ 使用後は、蛇口はきつく締めず、少し緩めた状態で保管すること。

（きつく締めたまま保管すると、中のゴムパッキンが固まり、蛇口が回らなくなるので要注意。）

3-5 特設公衆電話設置

特設公衆電話とは、災害時にNTTが被災地の避難所に臨時に設置する公衆電話で、無料で使用することができます。災害等により、地域防災拠点に避難した方などが、家族等の安否確認を行うことができるようにすることを目的としています。

特設公衆電話機器

- (1) 電話回線：2回線
- (2) 接続端子ボックス：1個
- (3) 電話機：2台
- (4) 電話コード：2セット

※(3) 電話機及び(4) 電話コードは、防災備蓄庫に保管されています。

各拠点2台になります。



<<設置方法 防災倉庫の梯子必須>>

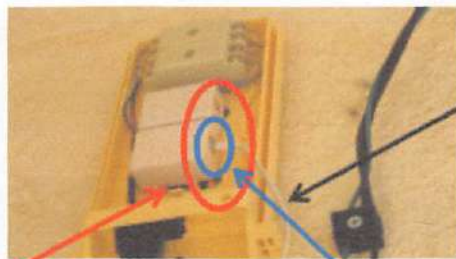
- ① 接続端子ボックスのカバーを上押し上げ、外します。



←特設公衆電話の接続場所
体育館東の角にある

- ② 接続端子に電話コードを接続する

接続端子ボックス内にある接続端子に電話コードのモジュージャックを音が「カチッ」と鳴るまできちんと差し込んでください。



電話コード

接続端子

モジュージャック

- ③ 電話機に電話コードを接続する

電話機に電話コードのモジュージャックを差し込みます。

②と同様に、音が「カチッ」と鳴るまできちんと差し込んでください。



電話コードの接続部

- ④ 電話機設置

体育館ステージの向かって右奥に仮設置。落ち着いたら、腰掛や台や風防等使いやすくする。

